



メールアドレス info@mie.jtuc-rengo.jp

HPアドレス https://rengo-mie.jp



平和の尊さを未来へつなぐ ～2026平和行動in沖縄～



△ピースフィールドワーク



▲全国の構成組織・地方連合会から892名が参加して開催

6月23日～25日、連合本部主催の「2026平和行動in沖縄」に連合三重から宮端副会長(自動車総連)を団長に7名が参加しました。

23日は「連合平和オキナワ集会」が開催され、第1部は基調講演「報道から平和を問う」の演題で沖縄タイムス 赤嶺由紀子編集局長の講演と、第2部の平和式典では、黙とうの後、主催者・地元・来賓挨拶、ピースリレー、平和アピールが行われました。

24日のピースフィールドワークでは、連合沖縄の青年委員会の案内により、糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔や平和祈念公園などを巡りました。その後「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会・デモ行進に参加し、戦争と平和への知識を深めました。

連合は「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」を合言葉に、全国の仲間とともに、次世代へ語り継ぐ戦争の悲惨さと、平和の尊さを引き続き訴えていきます。



▲連合三重の参加者



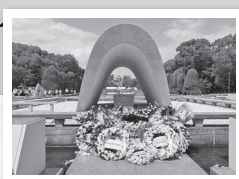
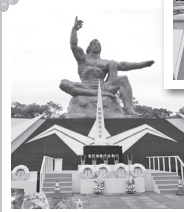
▲デモ行進

全国の平和行動

○平和行動in広島…………… 8月5日(水)～6日(木)
ピース・ウォーク、連合2026 平和ヒロシマ集会、連合・原爆死没者慰霊式

○平和行動in長崎…………… 8月8日(土)～9日(日)
連合2026 平和ナガサキ集会、ピース・ウォーク

○平和行動in根室…………… 9月4日(金)～6日(日)
北方四島学習会、2026平和ノサップ集会



働くことを軸とする安心社会の実現をめざして

連合三重は働く者、生活者の立場から、三重県や新政みえをはじめ、県内すべての地方自治体に対し「政策・制度 要求と提言」について要請を行っています。「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」に向けて、政策実現に全力で取り組みます。

連合ビジョン
働くことを軸とする安心社会
—まもる・つなぐ・創り出す—
5つの「安心の橋」

橋Ⅰ 学ぶことと働くことをつなぐ

- すべての子どもたちに学ぶ機会の保障、教育の無償化
- すべての子どもを包摂する教育の推進
- 労働教育のカリキュラム化の推進
- 連帯、共生による発展をめざす教育の充実
- 学ぶ場から働く場への円滑な移行のための環境整備
- 生涯を通じて学び続けられる環境の整備

橋Ⅱ 暮らしと働くことをつなぐ

- すべての人が働き続けられる公平・公正なワークルールの確立
- 多様な働き方・生き方が選択できる社会の構築
- 子ども・子育て、介護を社会全体で支える仕組みの構築
- 性やライフスタイルに中立的な税制や福祉・社会保障制度への改革、居住・医療保障の確立

橋Ⅲ 働くかたちを変える

- 良質な雇用の拡大と完全雇用の実現
- ディーセント・ワークの実現
- 働く側が選択できる働き方の多様化の実現
- 多様化などに対応した集团的労使関係システムの構築
- コンプライアンスの徹底、ワークルールの整備
- 雇用分野の性差別の禁止、賃金格差の是正、男女平等の実現

橋Ⅳ 健康・長寿社会をつくる

- 誰もが希望すれば生涯にわたり働き続けられる社会の構築
- 社会的貢献など「働くこと」の幅広い選択肢とアクセスを保障
- 安心と信頼の所得保障制度の整備・普及
- 健康で長生きできるための医療・介護保障

橋Ⅴ 離職から就労へつなぐ

- 職業訓練と公正な能力評価、雇用のマッチング機能のパッケージ戦略の構築
- すべての労働者に雇用保険と社会保険を適用
- 離職者や就業経験の少ない人への支援制度の拡充
- 「生活保障給付」制度の確立
- 住居と医療の確実な保障

基盤

基盤 「働くことを軸とする安心社会」を支える基盤

- 公正・公平な信頼のおける政府の確立
- 所得再分配機能の強化、分かちあいの社会の実現
- 企業の社会的責任の履行促進と生産性運動の深化
- グリーンでディーセントな産業・雇用の創出と持続的成長
- 自然災害への備えと人口減少・超少子高齢時代の地域社会づくりの推進

「2026年政策・制度 要求と提言」



連合がめざす社会は、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会であり、加えて、「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性、国籍の違い、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会です。その実現に向けて、「働くこと」につなげる5つの安心の橋を整備していくことが求められています。

▶ 新政みえ政策局と政策実現に向けて意見交換を行う

6月1日、三重県勤労者福祉会館において、新政みえ政策局と政策・制度検討委員会による「連合三重2026年政策・制度 要求と提言(素案)」の意見交換会を行いました。連合三重からは「2025年政策・制度 要求と提言」を検証して見直した「2026年政策・制度 要求と提言(素案)」について説明を行いました。新政みえからは、三重県の取り組みの進捗状況などについて説明を受け、「2026年政策・制度 要求と提言(素案)」について、活発な意見交換を行いました。

今後も、引き続き新政みえと連携を図り連合三重の政策・制度実現に向けた取り組みを進めていきます。



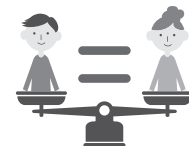
▲新政みえ稲垣代表の挨拶



▲意見交換会の様子

男女平等月間の取り組み

男女平等参画社会の実現に向けた要請



▲手交するジェンダー平等推進委員会 達委員長(左)と矢島雇用環境・均等室長(右)



▲三重労働局均等室長と現場の現状について意見交換を行う

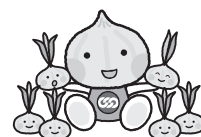
6月4日、ジェンダー平等推進委員会は、三重労働局に男女平等参画社会の実現に向けた要請を行いました。

要請内容①女性活躍推進法にもとづく一般事業主行動計画策定のための支援②カスタマー・ハラスメント対策・求職者等へのセクシュアル・ハラスメント対策の事業主への周知③事業主に対する改正育児・介護休業法における「柔軟な働き方を実現するための措置」の確実な実施④ハローワークの窓口における任

期付任用職員をはじめとする臨時職員・非常勤職員の雇用の安定と処遇改善)の4項目について概要説明を行った後、出席委員と現場の実態などについて意見交換を行いました。

今後も連合三重は、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め合い、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現に向けて取り組みを進めます。

街宣でジェンダー平等を訴える



6月の「男女平等月間」をテーマとして、連合の日(毎月5日)を中心に、全地協(10地協)の協力のもと、街宣車での音源流しや駅前での街宣活動を通じて、ジェンダー平等を訴えました。



▲桑員地協



▲三泗地協



▲亀山地協



▲津地協



▲松阪地協

出前なんでも労働相談を開催



▲パネル展示で質問を受ける様子



▲多くのお子様が来場

ポケットティッシュ



6月21日、三重県総合文化センターにおいて、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」主催の「フレンテフェスタ2026」が開催されました。この催しは、県内で男女共同参画を進める団体や企業の活動発表や情報交換等を行う年1回のイベントで、連合三重は「ジェンダー平等に関するパネル展示」と「出前なんでも労働相談」を出展しました。

当日は、ジェンダー平等推進委員がPR活動として、イベント券(ガチャガチャ)を入れたポケットティッシュやグッズの配布を行い、200名以上の方々にお立ち寄りいただきました。

オリジナルグッズ





最低賃金行政への要請

6月8日、三重労働局に対し、2026年度の最低賃金の引き上げに向けて、労務費の上昇分が適切に取引価格に転嫁できるよう、業務改善助成金を中小・小規模事業者が利用しやすい環境へ整備することなどについて要請を行いました。

意見交換では、昨年度の最低賃金発行日が11月21日と、例年より遅れたことを踏まえ、早期の最低賃金引き上げ発効は全労働者の利益であることから本年度は10月1日の発行をめざすべきとの意見が交わされました。また、中央の目安に左右されるのではなく、地域として「議論を尽くすこと」を重視して審議を進めていただきたい旨を伝えました。



▲要請書を手交する番条会長

安全衛生視察学習会

6月4日、中小労働委員会による安全衛生視察学習会を行い、伊賀市にある株式会社 安永様の工場を訪問いたしました。

会社からは「こだわり品質道場」と呼ばれるコーナーの設置や安全教育カリキュラムの整備など、安全と品質を両立させるための様々な取り組みを、組合からは、月1回の安全パトロールや、女性目線によるチェックなどの特徴的な取り組みを紹介していただきました。改めて啓発活動を継続的に行うことの大切さを実感する、非常に学びの多い視察となりました。



▲安永労働組合 今井委員長(中央)と



▲学習会の様子



皆さんからの食品・飲料を寄贈しました

5月25日、番条会長と国民運動検討委員会の山門委員長が三重県社会福祉協議会を訪問し、井村会長より感謝状をいただきました。

第97回三重県中央メーデー(4/25)のフードドライブ活動で、組合員の皆さんから寄付をいただいた食品や飲料など554点は、三重県社会福祉協議会を通じて県内の子どもの居場所づくりに取り組んでおられる8団体へ寄贈されました。

活動にご協力いただきました皆さんに心から感謝いたします。



▲贈呈式の様子

はたらくのそばで、ともに歩め 連合エコライフ 2026 ピークカットアクション夏

詳しくはコチラ

△ここからダウンロード

安心社会づくりに向けた福祉活動に、各種団体と連携して取り組みます

N三重県労福協

〒514-0004 津市栄町1丁目891
三重県労働者福祉会館内
TEL 059-225-2855
FAX 059-229-4433
ホームページ <http://www.mie-rofkyo.jp>

豊かで、公正な社会づくりをめざして。

こくみん共済coop

〒514-0004 津市栄町4-259-1
TEL 059-227-6167
FAX 059-225-5069
ホームページ <https://www.zenrosai.coop>

共済事業をとおして「労働者福祉運動」をサポートします。

R 東海ろうきん

私たちは、日本でただひとつ。はたらく人のための生活応援バンクです。

三重県住宅生協

〒514-8540 津市栄町1丁目891
三重県労働者福祉会館内
TEL 059-225-0851
FAX 059-225-0337
ホームページ <http://www.mie-jsk.or.jp/>

理想の住まいづくりをカタチにする暮らしのパートナー。